



おかわり、
ありがとう！



はやおきくん
©やなせたかし

写真募集

就寝時・起床時・食事風景・遊び・家族とのふれあいなど、子どもさんが主人公となる写真（家族といっしょでもOK）を募集します。

須崎市教育研究所
☎40・0078

「おかわりください」「何ですか？」「キュウリください」「お魚ください」「おいしかった？」「いっぱい食べてね」「ありがとう」毎日のように多くの子どもたちがおかわりをするために調理場に行きます。そして、調理員との会話も楽しみながら、おかわりももらっています。

入園当初は苦手な食品があった子どもたちも、友だちから刺激を受け、ま



た保育士の働きかけで食べることが好きになりました。あおい保育園の子どもたちは本当に食欲旺盛！残食はほとんどありません。

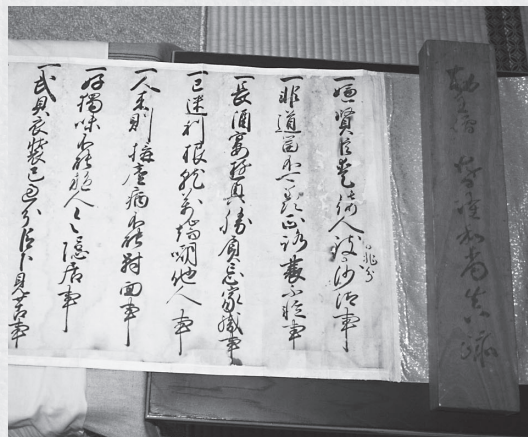
そして降園時には、「これおいしかった」「こんなものも食べれた？」とお家の方と一緒に給食展示ケースを見ている姿があります。

園では、親も子どもの食に関心を持ち、食べることを大切にしていけるように工夫していきたいと思っています。

もちろん一日の活動のエネルギーは、朝食です。お仕事をされている保護者の方が多く、朝は忙しいけれど、少し早目に子どもを起こすことで空腹を感じ、食欲も出てきます。

朝食で脳も体も目覚めさせ、一日の遊びや活動が意欲的にできる子どもたちにしていきたいと思います。

あおい保育園 園長 光森 容子



▲智隆の書

- 一、嫌賢臣愛倭人致非分沙汰事。
- 一、非道留不可□正路□不軽事。
- 一、長酒宴遊興勝負忌家職事。
- 一、己迷利根就萬端嘲他人事。
- 一、人來則構飯病、不能対面事。
- 一、好独味、不能施人令隱居事。
- 一、武具衣裝已過分臣下見苦事。
- 一、貴賤不并因果道理住安樂事。
- 一、出家沙門、尤致尊崇礼儀可正事。
- 一、分国諸閑立往還旅人令煩事。

□・・・読み取りできず

智隆 は、文化13（1816）年に土佐藩大船頭・堀内新助の二男として生まれ、俗名を勇次といひます。

文政10（1827）年、小高坂村（現・高知市）の浄福寺に入り、その後半山繁国寺に移り、郷土片岡虎五郎から剣術を習い、片岡小左衛門から儒学を学びました。各地の寺を回った後に、発生寺の住職になりました。

武市瑞山（通称・武市平平太）の勤

王同盟に参加し、文久2（1862）年京都に上り、諸藩の志士と交わり国事に奔走しました。

智隆の行動は幕府の役人にも知られ、豊後国（現・大分県）の正徳寺に隠逸し、僧名を祐如と改めて子弟の教育を行い、慶応元（1865）年9月26日に病死しています。

発生寺に伝えられているこの書は平常の心掛けを述べたものです。

すさぎの文化財

勤王僧智隆の書
発生寺

その四十九